

環境活動家グレタ・トゥーンベリさんとめぐる “#未来のための金曜日”の旅

対 象：中高生
人 数：最低6名
教科／分野：気候変動
授業時間数：3回（各3時間）
場 所：室内

ESD プログラ ムへの 想い	<p>国連の温暖化対策サミットで各国の代表を強い口調で非難し、早急な温暖化対策を求めたスウェーデンの17歳のグレタ・トゥーンベリさん。2018年8月から金曜日に学校を休んで国会議事堂の前に座り込み地球温暖化対策を求める運動をたった一人で始めました。この活動は“#未来のための金曜日”と呼ばれています。彼女の行動力に感動し、グレタさんと同世代の中高生と彼女がどうしてこのような活動をするに至ったのか共に考えたいと思いました。グレタさんの活動、スピーチからキーワードを見つけながら、彼女のメッセージの意図するところを深く掘り下げ、最終的には行動をおこす、「気候活動家」をめざします。</p>
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者が、気候変動によって起きている地球上の危機を直視する。(理解) ・学習者がその危機を自分ごととして捕らえる。(納得) ・学習者が「何とかしなくては」と切実に感じる(共感) ・学習者が自分にできることは何かを考え、実際に行動を起こす。(行動)
特 徴	<p>グレタさんのメッセージのキーワード：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の人々は気候変動について「なにも知らされていない」 ・「気候正義」 ・「大切なことは行動を起こすこと」 <p>グレタさんの活動を知ること、気候変動（地球温暖化）によって地球全体が待たなしの危機に瀕していることを理解する。その結果学習者が問題解決のために何か具体的に行動を起こさなくてはという切実な思いを持つことを第一の目標にしたい。(行動は後からついてくる)</p> <p>中でも、「気候正義」について深く掘り下げたい。</p>
持続可能な社会づくりの構成概念	<ul style="list-style-type: none"> ・責任性・公平性：ほんの一握りの富裕層が現在排出している温室効果ガス（二酸化炭素、メタンガスなど）によって、地球温暖化が進み、影響を受けているのはほとんど温室効果ガスを排出していない貧困国であり、若い将来世代である。また、地球上の生態系に多大な悪影響を及ぼしている。これは国家間、世代間、地球上の生物間における不公正であり、正義の問題である。 ・有限性：地球が吸収できる炭素の量（炭素予算）は決まっていて、このペースで排出し続けると8年から10年で使い果たしてしまう ・多様性：地球は生命の共同体であり大気も水もすべてつながっている。地球上の生態系はお互いに支え合ってバランスを取り合っている。気候危機によってそのバランスが崩れようとしている。 ・相互性：経済のグローバリズムにより、気候変動の問題は決して遠い地域で起きていることではなくつながっている。 ・連携性：気候危機の問題は世界レベルで解決すべき問題であり、国や地域のパートナーシップが欠かせない

重視する能力・態度	①共感する力：問題を見て見ぬふりをせず、直視し、相手の立場に立って理解する。 ②批判的に考える力：問題解決の為、現在の社会の仕組みを変え、新しい常識を生み出す必要がある。 ③多面的、総合的に考える力：自分の身の回りで起きていることだけではなく、地球規模の視点を持つ。 ④未来像を予測して計画を立てる力：問題点と原因が明らかになったら、解決策を考え行動する。		
プログラムの流れ			
時間	ねらい	方法・場所	内容
第1回 気候危機を知る			
20分	安心して自分を開き、自由に意見が言える場づくりをする。	アイスブレイキング	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介（共通点を見つける） 手を使ったアクティビティ（こころを開く） グランドルール作り（どんな意見でも尊重するなど）
5分	このプログラムでは地球規模での視点が必要であると認識する		地球の映像 世界地図を見せる グレタさんの出身国スウェーデンに印をつける 「さあ、旅を始めましょう！」
5分	スウェーデンを旅するグレタさんを知る		TED のグレタさんのスピーチを見る
15分	同じ年代のグレタさんとの共通点、より知りたい点を整理することで共感できる下地をつくる。		スピーチから受け取ったメッセージは何か。共感できるところは何か。疑問点（より知りたいところ）はないか。なんでも印象に残った事、言葉をワークシートに書き出す。 右半分はプログラムのふりかえりの為に空けておく。
90分	気候変動の現状を科学者の分析、数値などから理解する		映画「不都合な真実」を見る
30分	「不都合な真実」から受け取ったメッセージを整理する	4～6人のグループで話す	地球温暖化が原因で出ている影響をポストイットに書き出し世界地図に貼る。 ※この時点で原因、解決策が浮かんだら書き出してもよい。 次回以降のため世界地図の下に貼っておく。
15分	ふりかえり：問題を地球規模でとらえる		世界地図を見て問題が地球規模であることを確認する。 ワークシートの右半分に今感じている思いを書く。
第2回 気候正義を知る			
15分	安心して意見が言える場づくり		<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介（共通点を見つける） グランドルールの確認
45分	「気候正義」とは何かを知る		「クローズアップ現代」を見る
30分	「クローズアップ現代」を見て受け取ったメッセージを整理する	4～6人のグループに分かれる	「気候正義」を中心に温暖化が原因で出ている影響をポストイットに書いて世界地図に貼る（ポストイットの色を前回とは変える） ※人間だけでなく、生物、生態系への視点もわすれないようファシリテートする。

			前回同様、原因解決策も書いて良い。地図の下に貼っておく。
10分	問題を地球規模でとらえる		世界地図を見ながらこの問題が地球規模であり、自分と繋がっているのだということを確認する。
40分	「気候正義」の問題を作り出す構造をとらえる 解決を阻むものは何だろう。		「進撃の巨人」で「なりきりディスカッション」 「進撃の巨人」ストーリーのまとめを説明する。 ・安全を守る壁の絶対性を説く支配層 →a:王政 b:憲兵団 ・解決策を探るべく壁の外で戦う戦士 →憲兵団 ・王政の政策に疑問を持たない一般の人々の3グループにわかれ、それぞれが何を大事にしているか議論し、そのためにどう行動するかを発表する
40分	「気候危機」の問題に当てはめて考える		「気候危機」になぞらえて考えてみる。 それぞれのグループは現代社会において何に当てはめることができるだろうか。 問題点とどう行動するべきかを発表する。
第3回 「気候活動家」への道			
15分	安心して意見を言える場づくり		・自己紹介 ・グランドルールの確認
10分	問題を地球規模でとらえる		・前回までに作り上げてきた旅の軌跡を、世界地図を見ながら確認する
10分	「思い」をシェアする		・これまでのプログラムを終えて、今現在なにか行動に起こしたい、と思っていることがあればポストイットに書く。 (無くても良い。なければ一番心に残っていることを書く)
30分	〃		トーキングスティックを使い、第2回までのプログラムを経て、現在の「気候危機」に対する思いを語る 語り終わったらポストイットを世界地図の下に貼ってゆく
30分	行動をおこす為の準備をする		具体的に行動をおこす為には何かを話し合う ・問題のカギを握っているのは何か、誰なのか ・個人で出来ることはあるか ・グループで出来ることはあるか
45分	具体例を知る		「NHK スペシャル」を見る ・自治体レベルでの取り組み／・世界における活動の具体例 ・ESD プログラムの紹介など
30分	自分の行動を伝え、「ムーブメント」にしていくために		・「行動をおこしたいと思っている」＝「気候活動家」「環境活動家」「フェミニスト」「人権活動家」等々 自分にタイトルを付ける。今回は名刺を作ることを提案する。実際にPCで作成する。手書きでも良い。それを持ち歩きことあるごとに配り、自分の活動をアピールしよう。

SDGs との 関連性	目標 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 目標 10 人や国の不平等をなくそう 目標 13 気候変動に具体的な対策を 目標 14 海の豊かさを守ろう 目標 15 陸の豊かさを守ろう 目標 16 平和と公正をすべての人に 目標 17 パートナリシップで目標を達成しよう
学校・地域等 との連携上の 考慮	地域の中高等学校で行う際は、1回を50分×2時限とし、3週にわたって行う。
対象を発 展させる 可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と連携し、大学生に実施することも可。 ・小学生年代であれば、高学年から（5・6年生）実施する。その際は「不都合な真実」「クローズアップ現代」は小学生向けのコンテンツに変更する。
その他 補足事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生年代までに自然に親しみ、自分が地球の一部であることを感じられるプログラムを多数経験しておく。例えば ESD プログラム作成者を招き、実施してもらうなど。 ・学習者がおこしたい行動の内容が、ESD プログラム集の中であれば、作成者を招き、その解決策として実施する。 <p>→地域とつながり、少しずつ運動の輪が広がってゆく</p>

プログラム作成者名（団体名）：松本さやか（ガールスカウト千葉県第12団）